

家系の呪いを断て！

マリリン・ヒッキー



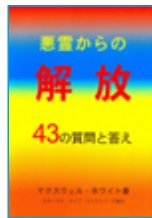
祝福や呪いを受け継ぐ家族の歴史を紹介し、解放の道も教えています。第一章 二つの家系の追跡調査 第二章 私たちはこうして呪いから解放された 第三章 呪いをもたらすもの / この世の人々は知っている / ある家族の歴史 / 酔っぱらったノア / カナンへの呪い / 性的罪の呪い 第四章 神が示された祝福と呪い / 魔法使いの呪い / さまざまな呪い / 『強い者』を縛る / 『他の七つの霊ども』 第五章 恵みの御座 / 義と公正 / カナン人の呪い / ラハブの家系の祝福 / すべての名にまさる名 / テリー家の呪いと祝福 / アルコールの呪いからの解放 第六章 受け継がれている呪い / 干ばつと病気の呪い / 親ゆずりの病気と問題 / 貧困の呪い / ファミリアー・スピリット / サウルとエン・ドルの魔女 第七章 ヘロデ家の呪い / ヘロデ大王 / ヘロデ・アンティパス / ヘロデ・アグリッパ 第八章 家族の呪いと祝福 / エサウの家系の呪い / 子羊の血 / 釣り合わないくびき / アカンの代価 / 家族を守りなさい / 人間により頼むことによる呪い 第九章 呪いをくつがえす / アブラハムから始まったさまざまな祝福 / 私の証し / 子どもたちの知性を守る / イエス様が呪ったこと / 人間関係における呪いと祝福 第十章 神への応答 / 遺伝的病気の呪いを打ち壊す / 家族を自由にする / 苦々しい思いからの解放 / 祝福から退けられたエサウ / 落胆と呪い / エサウの子孫の呪い 第十一章 ヨブと彼の家族 / 恐れという呪い / 真理はあ自由にする！ / 血は呪いをくつがえす 第十二章 オムリ家の呪い / オムリ家 / アハブとエリヤ / 不注意な王アハズヤ / アタルヤ…善と悪の混合 第十三章 レカブ家の祝福 / 神に忠実であり続けたレカブ家 / レカブ人は今も生存している！ 第十四章 祝福を受け取るためのアドバイス / 注意しなさい！ / 女性・男性への一言 / ガンからの解放 / 自由を保つ



悪霊を追い出す方法

フランク & アイダ・メイ・ハモンド

人々を悪霊から解放するために必要な教えを具体例とともに詳述。第一章 居間に入り込んだ豚 第二章 私たちの霊的な敵 / 家庭・教会・地域社会と国家のための闘い 第三章 良き戦いを戦う 第四章 解放の価値 第五章 どのように悪霊は入るのか？ / 罪 / 生活環境 / 親から受け継ぐこと 第六章 解放の必要を見きわめる七つの方法 / 見分けと観察 / 感情 / 精神 / 会話 / 性 / 耽溺行為 / 病弱 / 偽宗教 / 異端 / オカルト 第七章 解放のための七つのステップ / 正直 / 謙遜 / 悔い改め / 関わりを断ち切ること / 赦すこと / 祈り / 闘い 第八章 解放を保つための七つのステップ / 神の武具 / 肯定的告白 / みことば / 肉を十字架に 賛美と祈り / 交わりと奉仕 第九章 『家』を満たしておくこと / 御霊の力で『家』を満たしておくこと / 御霊の実で『家』を満たすこと / 愛 / 喜び / 平安 第十章 悪霊の外面的現われ 第十一章 個人の解放とグループの解放 / 個人解放の働き / グループを解放する働き / プライベートにする奉仕と、公の奉仕 第十二章 自己解放 第十三章 とりなしの祈りによる闘い / とりなしの祈り / 霊的闘い / 愛という武器 / みことばを祈る / 御霊に導かれること 第十四章 子どもたちに対する解放の働き 第十五章 縛ることと解くこと 第十六章 解放の働きの技術 / 按手 / 悪霊との会話 / 解放の中断 第十七章 解放のチーム / 構成 / チームの一致 / メンバーの役割 第十八章 解放の奉仕者の条件 / 恐れ克服 / 奉仕者の条件 / 時間 / エネルギー / 忍耐 / 献身 / 愛と賢さ / 非難されるところのない人 / 重荷を負う / 祈りと断食 第十九章 解放の奉仕者への実際的勧め / 部屋と備品 / 奉仕の前の話し合い / 解放の祈り / 権威を行使する / 悪霊に命じること 第二十章 悪霊のグループ分類 第二十一章 精神分裂 第二十二章 解放についての質問と答え / なぜクリスチャンに悪霊が入ることが可能なのか？ / 不信者を解放できるか？ / 追い出された悪霊はどうなるか？ / 悪霊に行先を命じられるか？ / 悪霊の再侵入を禁止できるか？ / 家を清めるべきか？ / 悪霊の名前を呼んで追い出すことは必要か？ 第二十三章 最後の戦闘 / 夢 / 解き明かし



悪霊からの解放…43の質問と答え

マクスウェル・ホワイト

悪霊と解放に関する 43 の質問にわかりやすく答えるハンドブック。■第一部 悪霊と解放について Q 1 悪霊とは何ですか？ Q 2 そもそも人間は、どのようにして悪霊の影響を受けるようになるのでしょうか？ Q 3 悪霊が入っている時、それをどうやって知ることができるのでしょうか？ Q 4 解放とは何ですか？ Q 5 だれでも悪霊を追い出せるのでしょうか？ ■第二部 悪霊とクリスチャンについて Q 6 クリスチャンが悪霊にとりつかれることはあり得るのでしょうか？ Q 7 悪霊にとりつかれているのではなくても、クリスチャンに悪霊が入っている（クリスチャンが悪霊を『持っている』）ことはあるのでしょうか？ Q 8 クリスチャンに悪霊が入ることがあるということは、聖書のどこに書かれていますか？ Q 9 悪霊と聖霊は、どのようにして同時に同じ人の中に住むことができるのでしょうか？ Q 10 クリスチャンに悪霊が入ることがあり得るなら、クリスチャンになされた聖霊の現われが本物かどうか、どうしたら確かめられるのでしょうか？ Q 11 使徒パウロの肉のどげは、悪霊だったのでしょくか？ Q 12 クリスチャンは自分の周りの悪霊の影響に対して、どうすれば立ち向かうことができますか？ Q 13 悪魔に機会を与えないためには、どうしたらよいですか？ ■第三部 さまざまな悪霊 Q 14 病気を引き起こす悪霊は存在しますか？ Q 15 人が病気なら、いつでも悪霊を追い出すべきですか？ Q 16 病気を引き起こしていた悪霊が追い出されたら、すぐに薬を全部やめるべきですか？ Q 17 情緒障害を引き起こす悪霊というものがあるのでしょうか？あるいはそのような問題は単に心理的なものなのでしょうか？ Q 18 オカルトとの関わりを通して私たちが汚す悪霊はいるのでしょうか？ Q 19 私たちの先祖を通して私たちのもつて来る悪霊はいるのでしょうか？ Q 20 人生のある時期まで現われずに『潜伏している悪霊』というようなものはいるのでしょうか？ Q

21 強い悪霊や弱い悪霊がいるのですか？ Q 22 悪霊たちの言うことに耳を傾けても安全ですか？ ■第四部 解放の働き Q 23 クリスマスが命じる時どうして悪霊は去らねばならないのでしょうか？ Q 24 経験を積んでいない人が解放の働きをするのはどうでしょうか？ Q 25 聖霊のバプテスマを受けていないクリスチャンも、人々から悪霊を追い出すべきでしょうか？ Q 26 解放を成功させるには断食が必要ですか？ Q 27 クリスマスは悪霊を地獄の底なしの所に送り込む権威がありますか？ Q 28 解放の働きは、これを理解できない人々には見られないところで、内密にすべきではないでしょうか？ Q 29 人を悪霊から解放するには何時間もかける必要があるのでしょうか？ Q 30 クリスマスは悪霊たちを追い出す前に、彼らに名前を言わせなければならないでしょうか？ Q 31 悪霊はいつも口から出て行くのですか？ Q 32 解放の間、気持ちよくない現象が起きると聞いたことがあります。それは何でしょうか？ それは必要なことでしょうか？ Q 33 悪霊が追い出されても、部分的な解放しか経験しない人々がいるのはなぜですか？ Q 34 クリスマスが悪霊から解放されたら、悪霊が戻って来ないという保証はありますか？ ■第五部 解放の働きに対する反論について Q 35 悪霊を追い出すことは危険ではありませんか？ Q 36 私たちはただ福音を宣べ伝えるべきであって、解放の働きに関わるべきではないのではいませんか？ Q 37 『悪霊意識』になりすぎるのは、精神的にも不健全ではないですか？ Q 38 ただ神を賛美して悪霊を無視していれば、もっと効果的に悪霊を取り扱えるのではないですか？ Q 39 解放の働きは、イエス・キリストよりも悪魔の偉大さを現わすことにならないでしょうか？ Q 40 肉の行ないをどうして悪霊のせいにするのですか？ Q 41 解放の働きが正しく、聖書的なことなら、これまでの教会の歴史の中で、その働きはどのようにされていたのですか？ Q 42 他人の人々の中にいる悪霊のことを心配するより、自分から悪霊を追い出すことをしたほうが良いのではないですか？ Q 43 天使長ミカエルがサタンをあえてとがめなかったのなら、私たちもそうすべきではないでしょうか？



サタンの敗北をあらわにする方法

ジョン・オスティーン

世界の霊的巨人たちの生涯を紹介。彼らは、なぜ神の栄光を現わすことができたのか？ なぜ失敗したのか？ 彼らは迫害や苦難にどのように対処して勝利したのか？ 本書は、私たちが不必要な失敗を避け、試練を乗り越え、勝利できるための人生の知恵を教えています。



ファミリー・スピリット フランク・ハモンド

副題「人に深く関わる悪霊」 ファミリー・スピリットとは / (1) 占い (2) TM…ヒンズー教の瞑想 (3) 想像上の遊び友達 (4) 視覚化・思い描くこと (5) 薬物 (6) ロック・ミュージック (7) ゲーム・おもちゃ (8) 悪霊との会話 (9) 降霊術 (10) インキュバスとサキュバス



たましいのきずな フランク・ハモンド

副題「人間関係に働く悪霊」 良い「たましいのきずな」/結婚のきずな/友情のきずな/親子間の「たましいのきずな」/クリスチャンたちの中の「たましいのきずな」/悪霊による「たましいのきずな」/淫行を通して形成されるきずな/悪い友とのきずな/墮落した「家族のきずな」/死人との「たましいのきずな」/教会内の、悪霊による「たましいのきずな」/同じような悪霊による影響/「たましいのきずな」の持つ力/「結びつける」と「交わり」/悪霊による「たましいのきずな」を打ち壊す



私はガンからいやされた！

キャサリン・クールマン編 第一章 動悸をうつような痛み 第二章 ああ神様、彼らに私の泣き声が聞こえないようにしてください！ 第三章 めったにない骨のガン 第四章 コバルト治療 第五章 神が語られる時は、ご自身のことばを裏切ることはありません 第六章 そこに聖霊がおられた 第七章 私は骨のガンからいやされました！ 第八章 新しい人生の始まり 第九章 あなたは本当に奇蹟の人です！



決して遅すぎることはない

キャサリン・クールマン

奇跡のいやしの証言記録。第一章 私の死は始まっていた 第二章 疑いから確信へ 第三章 助けもなく、希望もなく 第四章 信仰の種 第五章『頭がどうかしたんじゃない！』 第六章 五十七歳から始まる人生 第七章 キャサリン・クールマンからのメッセージ/『いやされていない人たちのために』



《おすすめの本》 癌からいやされて

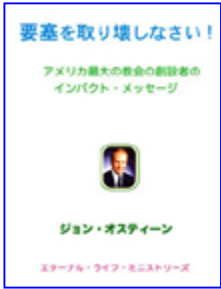
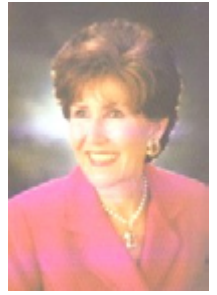
ドディー・オスティーン著

《著者から皆様へ》 「いやしの鍵は、みことばの告白です！

もし神のことがなかったら、私は死んでしまっていたはずですよ。

神が私をいやしてくださったという事実は、神が現在でも人々のことを心にかけておられること、神があなたをもいやしたいと願っておられることを示しています。イエス様は、あなたが早死にすることを望んではおられません。彼は、あなたが生きて、神のみわざを宣べ伝えることを望んでおられるのです。

私がいやされるのに役立った最も重要なことの一つは、神のことに揺るがない信頼を置いていたことでした。最も役立った40のみことばをみなさんに紹介したいと思います。私は自分の信仰を建て上げ、支えるために、今でも毎日それを読んでいます。これらのいやしの約束を毎日告白することこそが、私のいやしの鍵でした。これらのみことばを、あなたの日々の告白の一部として使ってください」



《おすすめの本》 要塞を取り壊しなさい！

ジョン・オスティーン著

○告白の重要性 / 神のこばの具体的使用法 / 力強いインパクトあるメッセージ！

ジョン & ドディー・オスティーン夫妻はレイクウッド教会の創立者です。現在はジョエル（息子） & ビクトリア・オスティーン夫妻が牧師を務めています。

● ジョン・オスティーン（1921～1999）：米国南部バプテスト派の奉仕者であった著者は、牧師、伝道者、著作者、教師として60年にわたって奉仕しました。1958年に聖霊のバプテスマを受け、神の愛といやしと御力のメッセージを世界中の人々に伝えました。彼の創設したテキサス州ヒューストンのレイクウッド教会は、「混迷する世界における愛のオアシス」として知られています。



《おすすめの本》 呪いを打ち壊す方法

フランク & アイダ・メイ・ハモンド著

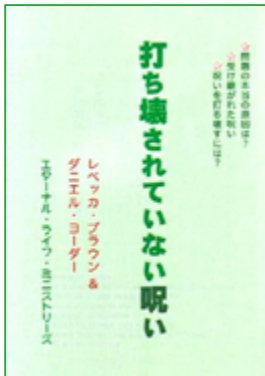
多くの呪いの問題の原因と解決法がわかります。

第一章 現実に存在する呪い / ヨタムの呪い / スペインの呪い / 第二章 家系の呪い / 先祖の罪 / 先祖からの呪いの及ぼす影響 / 母親の罪が原因で耳が聞こえなかった少年 / 第三章 個人的な罪による呪い / 呪いをもたらす37の罪 / あなたは祝福されているか？ / 呪われているか？ / 過去の罪によってもたらされた精神病 / オカルトの領域に『触れた』神学生 / 偶像崇拜から生じる霊的妨げ / オカルトのネックレス / 第四章 絶滅すべきもの / 呪いを家に持ち込んだ人 / 悪夢と工艺品 / 病気を起こした花瓶 / 異教の儀式で呪いを受けた宣教師 / 『イエスの絵』による呪い / 『イエスの絵』から出て来た悪霊 / キリストの十字架張り付け像による呪い / 第五章 ことばによる呪い / 悪いことば / 呪いのことば / 経済的スランプと呪い / 誓いを打ち消す権威 / 呪いのことばの撤回 / 自分自身への呪い / 自分を呪ったりベカ / 誓い / フリーメソン / クラブの誓約 / ヒポクラテスの誓い / 第六章 権威から生じる呪い / 祝福とも呪いともなり得る権威者 / 上に立つ人々のための祈り / 権威を持つ者が道はずれた時 / 創始者の呪い / 呪われた教会 / カイロプラクティック（整体・指圧・針・健康法）と呪い / オカルト療法を施す看護婦・美容師 / 第七章 魔術による呪い / 神以外の力を求め始めるクリスチャンたち / 魔術による呪いをかけられた女性 / 悪霊の性的攻撃 / 奇怪現象が起きる家を清める方法 / パラムはなぜ呪うことに失敗したのか？ / 第八章 呪いに関する八原則 / ぜんそくと熱病を引き起こした真の原因 / 第九章 呪いを打ち壊す九ステップ

《おすすめの本》 打ち壊されていない呪い

レベッカ・ブラウン & ダニエル・ヨーダー著

多くの霊的な問題の原因と解決法がわかります！第一章 解決できない問題の根源 / 知らないでいること / 真実を知っておられる方 / 第二章 呪いの種類 / 打ち壊す方法 / 呪いの目的 / 呪いの原因 / 呪いを打ち壊す方法 / 第三章 受け継がれている呪い / 受け継がれていた癌の呪い / 母親から受け継いでいた「悪霊の入口」 / 子孫への呪いを先祖が受け入れたこと / 先祖の罪 / 第四章 呪われている物 / 家の中に呪われた物を持ち込むこと / 貧困の呪いがかけられた立像 / 魔術師からの呪いの贈り物 / 日本で買った土産品による呪い / ハワイで受けた花輪による呪い / 悪霊に関わりのある博物館 / アメリカ・インディアンの宗教 / 悪霊への忠誠を示すヘアスタイル / 第五章 呪われている場所 / ツタンカーメンの墓の呪い / 入るべきではなかった場所 / まちがった『霊の戦い』をすること / 呪われた土地に住むこと / 呪われた家に住むこと / 呪われた場所に建てられた教会 / 第六章 送り込まれる呪い / オカルトの絵画の呪い / 霊的領域から直接送られる呪い / 呪いに使われる材料 / 動物やペットへの呪い / 呪われた贈り物 / 第七章 呪いを受ける行為 / サタンをあざげること / 偶像に献げられた食物を食べること / 憎しみ・ねたみ・抑制されない舌 / ホテルの部屋のタペストリー / 神への誓いを破ること…





《おすすめの本》 サタンの策略

霊的世界のさまざまな真実がよくわかる本です！ サタンと悪霊に勝利する秘訣がわかります！

- 霊的闘いに勝利する方法！ ●明らかにされた霊的世界の真実！
- ヨガ・針治療・UFO・悪霊による諸現象…

《著者》 レベッカ・ブラウン

★《多くの霊的な問題の原因と解決法がわかります！》

《内容》 ●第一章 悪霊に勝利する方法 / 家に油を塗って聖別する / 土地を主のものであると宣言すること / 悪霊と関わりのある物を除く / 自分の生活からどんな罪も取り除くこと / 自分の家庭を整える / 反抗的娘が原因であった家庭の混乱

●第二章 悪霊の入口 / 言い争いを引き起こしていた悪霊 / 福音伝道の妨害 / 飛行機の中で聞いた神の声 / オカルトによる入口 / オカルトで使われる『塩』 / ハーブと健康食品 / 危険な『霊を解き放つ祈り』 / ニューエイジによる入口 / ヨガとヒンズー教 / オカルト的瞑想と聖書の黙想 / サプリミナル・テープ / 針治療 / バイオフィードバック / 自己催眠 / 幼少年期の入口 / ジェニーの寝室に現われた『怪獣』 / 子どもに現われる悪霊 / 子どもを守る両親の祈り / 悪霊を退けた六歳のトミー / 受け継がれている入口 / ゲームによる入口 / ゲームを通して悪霊に束縛された少年 / 性的関わりによる入口 / 性的罪に陥る牧師たち / 性的関わりを通して働く悪霊 / 墮胎 / 武道を通して働く悪霊 / 柔道・空手・ルーン文字 / ロック音楽 / 入口を閉ざすこと / 四つのステップ / ファミリアー・オブジェクト

- 第三章 霊を吟味すること / だまされてはならない！ / 危険な按手 / 『ゲスト・スピーカー』の按手により、悪霊を受けた女性！ / 悪霊も行なっている『しるしと不思議』 / 偽りの奇蹟を見分ける方法 / 奇蹟をショー・ビジネスに利用する奉仕者たち / 偽異言を語る人々 / 悪霊による『預言』と『知識のことば』 / 『聖霊による経験』と誤解されていた無意識状態
- 第四章 霊と霊の世界 / 人間の霊の体 / 魂と霊を分けるべき理由 / 人間の霊の体を悪用するサタン / アストラル・プロジェクション（霊体離脱） / 頭の中を空にすることの危険性 / 悪霊の操作のからくり / 解放の働きと霊の体 / 肉体に現われた噛み傷 / たましいと霊のつながりに関わる事例 / 人間の霊による攻撃を受けた青年 / 人間の霊と悪霊から性的攻撃を受けた女性 / UFO…悪霊による現象！ / 憎しみ
- 第五章 ビジュアライゼーション（イメージを思い描くこと） / 悪霊によるいやし / 神のみこころによらずに関わる霊の世界
- 第六章 人々のために『破れ口に立つ』こと / 『破れ口』に立つ方法 / 人間の霊が、霊の世界で行なう闘い / パウロの霊・パウロの霊の闘い / 収穫は多いが働き人は少ない
- 第七章 神と契約を結ぶこと / 両親が結んだ契約 / 完全に主にゆだねること / 霊的闘いへの召命 / 闘いのための訓練 / 危険を知らせてくださる主の声 / 契約を結ぶことによって与えられた備え / クリスチャンだれもが結ぶべき契約
- 第八章 立ち続けること / 霊的闘いの必要条件 / 互いの重荷を負い合うこと / 闘いについての誤解 / 重荷を負わない奉仕者たち
- 第九章 火のバプテスマ / 主のために受ける苦しみ / 主の本当のしもべとは？ / 偽りの奉仕者を見抜くテスト！ / 全き満たしを受ける条件 / 火のバプテスマ / 神の御前で灰となる働き / 身を低くすること
- 第十章 神の御声を聞くこと / 神からの個人的語りかけ / 神からの『重荷』と、サタンからの『負担』のちがいが / 頭の中にひらめく『思い』 / 感情に頼ってはならない！ / 神を熱心に求めよ / 絶対に必要な日々之交わりの時間 / 逃避への誘惑 / 主が望んでおられる交わり / 神の声に対して心をかたくなにする時 / 私が聞いた『惑わしの声』 / パートナーとの一致の重要性 / 平安と一致に基づく行動 / サタンのわなから救われた出来事 / 夫婦のパートナーとしての関係 / 秩序からはずれた状態 / 主からの確認 / 私が主とコミュニケーションを持つ時 / 主はいつ語られるのか？ / 主が沈黙なさる理由 / 主から聞くことができないようにする感情の高まり / 私に語りかけなさい！ / 些細なことにまで関心を持っておられる主 / 主に語りかける習慣
- 第十一章 闘うクリスチャンの祈り / 私がする『いつもの』祈りの時 / 私の祈り方 / 聖霊によるとりなし / 『自分の要求』対『神のみこころ』 / みこころからはずれた願い事 / 『彼女のいやしを求めることを、やめなさい』 / 聖霊にみわざをなしていただくこと / 聖霊のすばらしいみわざ
- 第十二章 二心の人 / 激しい闘いの生活 / サタン崇拝者たちの破壊と攻撃 / スラムの小屋での生活！ / 『あなたは二心の人です！』 / 闘いの場所…知性 / サタンからの思いを退ける / 『二心』の問題の解決方法 / 結婚生活への攻撃 / 人間関係の攪乱 / 夫の悪口を言わせていた悪霊
- 第十三章 解放の働きの実際（1） / 自己解放の条件 / 助けてくれる人がいない時 / 自己解放をして解放された夫婦 / 神のことばを生活に浸透させること / 解放の働きをする前のカウンセリング / 悪霊の入口を捜す / 受動的態度 / 解放されなかった本当の原因 / 自分から求めようとしないうでいた高校生 / かえてあげてあげたり得る『人間的同情心』 / 人間の霊の体をコントロールすること / 自分の霊のからだを『連行』された男性 / 教えるべきこと / 解放の方法 / 聖霊の導きを待つこと / 解放を行なう場所 / ペットを通して働いた悪霊 / オカルトに関わった女性の解放 / 主が示される解放の手順
- 第十四章 解放の働きの実際（2） / 異性の人を解放する時 / 長時間の解放の奉仕と休憩 / 無意識状態の扱い方 / 天使に悪霊を苦しめさせる？ / 例外的な解放の事例 / 悪霊にとって耐えられない二つのみことば / 非常に大切な『たんばく質』の摂取 / ニューエイジの偽りの教え / 肉を食べることと霊的闘いの関係 / 『健康食』・『菜食主義』 / 断食と霊的闘い / 油を塗ること / 異言と解放の働き / オカルトに関わっている人々を解放する場合 / 悪霊と話しをして楽しむ人々 / プライドのわなにはまった牧師 / 悪霊について誤解している奉仕者たち / 『自分を現わせ』と命じる危険な行為 / 大衆解放？・『見せ物』にされる解放行為 / カメラとテープ・レコーダー / 愛と忍耐によるアフターケア / マインド・コントロール / 守護霊を持っている人々の解放 / 知性を再訓練する方法 / 大切な体のケア / イレインの成長プロセス / どうすれば助けてあげられるのか？ ●第十五章 神の召しへの従順

《おすすめの本》

悪霊の正体

本書は、現代における霊の世界の諸活動をじかに目撃した証言記録です。悪霊についての真実がわかる、おすすめの本です！●著者の目撃証言に基づき、クリスチャン女性によって描かれた5枚の悪霊のイラスト図および1枚の天国のハイウェイのイラスト図（合計6枚）付

《著者》 ハワード・O・ピットマン ■悪霊の姿と形の詳しい描写！ ■ロック音楽の『逆向きメッセージ』 ■悪霊が人間の体内に入る様子！ ■異星人・前世からの生まれ変わり？ ■幽霊・心霊現象・多重人格の正体 ■天国に向かう聖徒たちのトンネル

★《人間の体内に入った悪霊！》

…私たちがいたのは、患者のいる病室ではなく、従業員の休憩室と私には見える部屋でした。その部屋には、一人の若い男性と一人の若い女性がいました。私たちが次元の壁を通って入ったその部屋の中で、私たちはその

二人から九十センチくらいの場所におり、手を伸ばせば彼らに触れられるくらい近いところにいました。私は彼らが言う一つ一つのことばを「聞く」ことも理解することもできました。しかし、彼らは、私や天使たちを見ることも聞くことも感じ取ることもできませんでした。

そのカップルは、私たちがそこにいるとは全くわかってなく、完全に自分たちしかいないと思っているようでした。その二人の間に、あらゆる生き物の中で最も卑しい容貌の生き物が立っていました。二人はその生き物に全く気付いていませんでした。それは、大きくなりすぎた、緑色の、ぬいぐるみのカエルに似ていました。それは全く不格好でした。その男女は、おしゃべりをしたり笑ったりしており、ジョークを交わしたばかりのようでした。

ところが、その悪霊が二人の間において、その男性の顔のほうへ、ゆっくり移動していました。ちょうど、猫が小鳥に忍び寄り、猫がもくろみ通りの動きをするように、その悪霊の一つ一つの動きも、もくろみ通りでした。その男性はその悪霊を見ることができず、起ころうとしていることに気付いていませんでした。

私はその男性のすぐ近くにいましたが、彼に警告することはできませんでした。なぜなら、彼には私の言うことが聞こえなかったからです。私は完全に霊の内にいたゆえに、彼とのコミュニケーションはできませんでした。その悪霊がその男性の顔に達した時、突然、…（抜粋）



《おすすめの本》

神のいやし Q&A

聖書の癒しに関する 32 の質問・疑問に答える実践的ハンドブックです。病気・癒し・健康についてよく理解できます！

《著者》 ゴードン & フレッド・リンゼイ

★《神のいやし・病気・健康…多くの疑問に答えます！》

- 1 信仰がなくても、いやされるのか？ ● 2 パウロは病気だったのか？ ● 3 神は未信者である両親の子どもたちでもいやしてくださいるか？ ● 4 本当にいやされたのに、その人に病苦が戻って来ることがあるか？ ● 5 いやしの祈りを受けた後も薬を飲み続けるべきか？ ● 6 病人のために祈る際、塗油をしない人たちもいるのは、なぜか？ ● 7 悪魔が人々をいやすことがあるか？ ● 8 神が人々に病気を送られるのか？ ● 9 死人をよみがえらせることについて ● 10 精神医学や精神分析療法について ● 11 聾啞者のいやしについて ● 12 愛の神が、なぜ小児麻痺をお許しになるのか？ ● 13 蛇を取りのけることについて ● 14 なぜ病気のクリスチャンが多いのか？ ● 15 神の働きに深く献身している真の聖徒が、なぜいやされずにいるのか？ ● 16 なぜ瞬間的にいやされないのか？ ● 17 イエスはだれでもいやされたのに、なぜ今はそうでないのか？ ● 18 病気は神からの懲らしめか？ ● 19 神のいやしは初代教会のためだけのものではないか？ ● 20 いやしの奉仕をした人が不誠実な人なら、いやしは偽物なのではないか？ ● 21 いやしを行う人々は偽預言者なのではないか？ ● 22 公の場で病人のために祈るべきではないのでは？ ● 23 病気は神の栄光のためにあるのではないか？ ● 24 ヨブは全き人であったのに、なぜ病気になったのか？ ● 25 パウロの「肉のとげ」は、いやされなかった病気のことでないか？ ● 26 パウロはなぜ、ぶどう酒を勧めたのか？ ● 27 パウロやテモテは「弱さ」からいやされなかったのか？ ● 28 なぜトロフィモやエパフロデトは病気になったのか？ ● 29 ヘゼキヤの病気は湿布という医療行為でいやされたのか？ ● 30 クリスチャンは病気のいやしを医者に求めるべきではないか？ ● 31 過去の有名な神の人々は、いやしの教えを受け入れていないのではないか？ ● 32 いやされていないクリスチャンには罪があるのか？

《エターナル・ライフ・メッセージ誌》



● 19+20号「いやしを受け取る決定的条件」

ベッキー・フェンダー

● 61号「ロック音楽とサタン崇拝」

DIAGNOSEN 誌

● 70号「悪霊を見て追い出す子どもたち」

ハロルド・ベイカー



著者ハロルド・A・ベイカー（1881年～1971年）は、宣教師として、チベット、中国、台湾で伝道しました。中国の雲南省では、彼は妻とともに孤児たち（おもに六歳から十八歳までの少年たち）のためのアデュラム救済ミッションを始めました。本誌には、その時期の聖霊の大いなる傾注について紹介されています。

現在、彼の孫であるローランド・ベイカーは、妻のハイディ・G・ベイカーとともにモザンビークにて宣教活動を大きく展開しており、モザンビークで5000以上の教会を設立し、二十ヶ国以上の国々で8000以上の教会を設

立しています。彼らの働きでは数多くの奇跡が報告されています。

● iris ministries の詳細は、→ www.irisglobal.org/

● ハイディ・G・ベイカーのメッセージは、→ 『愛に動かされる奉仕の働き』（メッセージ誌50号）を参照ください。

● 『終わりの時代の出来事』には66号～74号の内容も収録されています。

